

科学新聞

週刊 (金曜日発行)
発行所 科学新聞社
本社 (〒105-0013) 東京都港区浜松町1-8-1
電話 03-3434-3741
FAX 03-3434-3745
mail: edit@sci-news.co.jp
振替 00170-8-33592
購読料 1ヵ月 1,835円 (消費税込)

通信機器市場 第6回黒川対談

通信機器市場の動向や、第6回黒川対談の模様を掲載。また、特別シンポジウム「日本の伝統技術」の開催情報も提供。

導入導理原理競争

国大法人等 運営費交付金

算定ルール明らかに 効率化 一般管理費等、一部のみ

国立大学法人全国立大学共同利用機関法人の運営費交付金の算定ルールが明らかになった。六日から始まった国立大学協会各地区ブロック会議や大分県共同利用機関委員会などで、具体的な内容の説明が行われた。効率化係数は、一般管理費を二部の割合のみならず、増額ルールも設定されるなど、心配されていた国立大学法人の運営が危機的状況に陥ることはなかった。

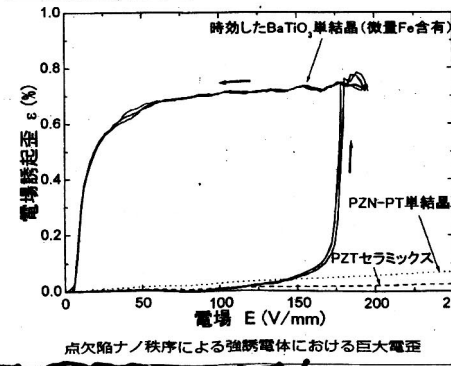
また、人材確保に配慮した学部・研究科の増設などに伴って、必要な事業費を運営費交付金で賄う必要がある。競争的資金が確保されなくなるなどの懸念が寄せられている。また、増額ルールが新設されたことにより、全体の負担は軽減できるとの見方もある。

特別シンポジウム「日本の伝統技術」の開催。2月2日、東京で開催される。内容は、日本の伝統技術の現状と今後の展開について、関係者による議論が行われる。

物・材機構 巨大電歪効果発見 鉛フリー圧電材料 開発

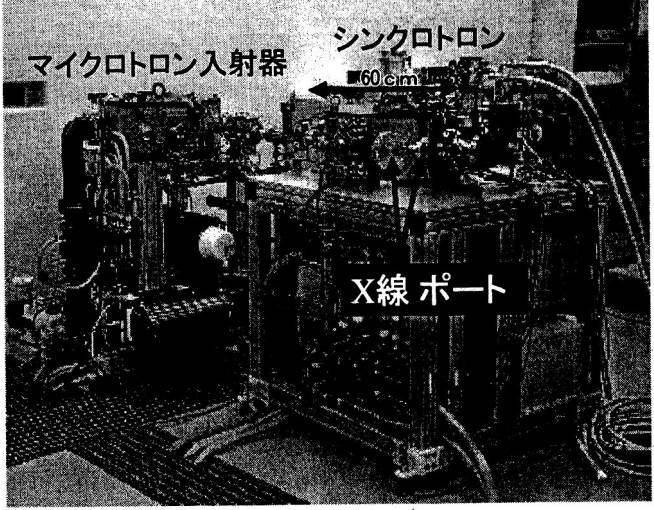
物質・材料研究機構(機構)の研究者らが、鉛フリーの圧電材料を開発した。この材料は、従来の圧電材料よりも大きな電歪効果を示すことが確認された。また、この材料は、環境にも優しいと見られる。研究成果は、国際学術雑誌「ネイチャー」に掲載された。

物質・材料研究機構(機構)の研究者らが、鉛フリーの圧電材料を開発した。この材料は、従来の圧電材料よりも大きな電歪効果を示すことが確認された。また、この材料は、環境にも優しいと見られる。研究成果は、国際学術雑誌「ネイチャー」に掲載された。



巨大電歪効果を開いた結果、従来の圧電材料よりも大きな電歪効果を示すことが確認された。この材料は、環境にも優しいと見られる。研究成果は、国際学術雑誌「ネイチャー」に掲載された。

外径60センチメートルの卓上型放射光装置誕生



卓上型放射光装置「みらくる6X」の開発に成功。放射線治療装置に応用も。この装置は、従来の放射光装置よりもコンパクトで、実験室に設置しやすいという特徴がある。

立命館大学電子情報理工学部の山田廣成教授は、放射線治療装置に応用可能な放射光装置を開発した。この装置は、従来の放射光装置よりもコンパクトで、実験室に設置しやすいという特徴がある。

海洋 M8クラス地震発生帯 南海トラフ構造調査へ

海洋科学センターの研究者らが、南海トラフの構造を調査している。M8クラスの地震が発生する可能性があるという見方がある。調査は、南海トラフの断層帯の位置と深さを明らかにするために進められている。

調査測線図

来週の催し

1月19～24日
19日(月) コンビナトリアル・バイオエナジーシンポジウム「新バイオ分子と機能の創出をめざして」(阪大報告会館) 新春特別フォーラム「国立大学独立行政法人化の将来ビジョン」